

とよなか

子ども達の豊かな成長・発達のために皆で力を合わせましょう！

教え子を再び戦場に送るな！ 2013年9月25日発行NO. 510

SMAP
の
ヒット曲

♪ ナンバーワンにならなくてもいい ♪ この歌が子どもをダメにする！？



安倍政権「教育再生」メンバーの危険な持論

◇◇◇◇◇
SMAPのヒット曲を攻撃しているのは八木秀次氏。安倍政権に教育提言を行う「教育再生実

行会議」のメンバーの一人です。
「新しい歴史教科書をつくる会」元会長です。過去の日本の侵略や旧日本軍「従軍慰安婦」への軍の関与を認めた「河野・村山談話」が「反日自虐的な方向」に向かわせたと主張し「安倍首相はそんなような歴史認識と敢然と戦う政治家」と首相を賛美しています。

八木氏は「教育には何らかの強制が必要であり、子供たちの意思だけに任せていたのでは、とても成り立たない」「手を上げてでも言うべきことを言い、するべきことをさせるのが親の愛情」「教育や嫉には強制力が必然的に伴う」「母性や父性を重視し『良妻賢母』『父親の威厳』を復権します」などと主張しています。

◇◇◇◇◇
「安倍内閣「教育再生」のもう一人の象徴人物は今年から中央教育審議会（文科省の諮問機関）委員となった櫻井よしこ氏（ジャーナリスト）です。

「日本政府や軍が慰安婦を強制連行した事実はない」と主張し、2007年と12年の2度にわたりとアメリカの新聞に意見広告を掲載し、アメリカ下院の対日謝罪要求決議を阻止しようとした。

しかし、決議は採択され「日本軍が強制的に若い女性を『慰安婦』と呼ばれる性の奴隷にした事実」を「公式に認めて謝罪」「歴史的な責任」を追うように日本政府に求めました。
櫻井氏は講演で「体罰と呼ぶのか肉体的鍛錬と呼ぶのかの違いがあるかと思うが、そういったことをもう一度取り戻さなくてはならない」と主張し

ています。

何が歴史の真実か！
学びましょう

世界から孤立する歪んだ歴史認識や「強制力」頼みの教育観に基づく安倍内閣の「教育再生」は危険がいっぱいです。
橋下維新の会代表の発言にも見られるように「従軍慰安婦」問題、歴史認識について問われています。

＜図書紹介＞

『司法が認定した日本軍「慰安婦」被害加害事実は消せない』

坪川宏子・大森典子著 かもがわブックレット 630円

『「従軍慰安婦」をめぐる30のウソと真実』

吉見義明・河田文子編著 大月書店 900円

『「慰安婦」と出会った女子大生たち』

神戸女学院大学 石川康宏ゼミナール編著 新日本出版 1575円

国向け・大阪府向け 「教育署名」 豊中市向け 「きらきら署名」



30人学級実現、 教育予算増額の 声を広げよう！

2013年度、国は「35人以下学級」をすすめることを見送りました。少人数学級の声を国常識でもありません。世界で責任ですべての中小高で30人学級実現の声を広げましょう。

「高校無償化はバラマキと所得制限導入」

自公政権は高校授業料の所得制限を導入することを決めました。日本府（民主党政権）は昨年9月に国際人権規約で高校・大学の「無償教育の漸進的導入」を国際社会に約束をしています。OECD加盟30カ国で公立高校の授業料なしの国は26カ国。国立大学の授業料なし15カ国。大学生への給付制奨学金がある国は28カ国。日本はいずれも実施し

ていません。経済大国といえながら、世界から見ると教育予算が世界最低水準です。教育にお金がかかりすぎるという保護者・国民の声。そして、私たち教職員にとっても世界の常識の少人数学級実現は待ったなしです。

市に豊中の教育・保育
要望を「きらきら署名」

こどもたちの瞳がきらきら輝く、豊かな保育・教育の充実を！
「子どもの権利条約」の精神を生かし、
こどもたちのための施策充実をもとめる請願書

こどもたちの輝く瞳と笑顔は、私たちみんなの願いであり、希望です。こどもたちは、これからの社会を支える大切な存在であり、情緒豊かで明るいこどもたちが育っていくかどうかは、私たちの未来を左右する問題です。そのためには、保育・教育での施策の充実で元気な子どもを育てていくことが、強く求められます。以上の趣旨から、だれもが安心して子どもを産み、育て、働きつづけることのできる世の中の実現を願って、私たちは次のことを請願します。

保育関係団体や女性団体等と豊中の教育・保育要求を実現しようとする署名にとりくみます。

- ① 保育所希望者全員が入所できるように
- ② 市独自で30人学級を実施すること
- ③ 小学校給食の自校調理方式、中学給食も全員喫食の自校調理方式に！
- ④ 学童保育の時間延長の改善
- ⑤ 学童保育の毎土曜日開設！
- ⑥ 学童保育の学校休業日の開始時刻をはやめること

署名への協力をお願いいたします。

世界の非常識 日本の教育条件

国	学級編制	人数
日本	小学校2年～中学校3年	40人
	小学校1年のみ	35人
イギリス	初等学校1年～2年	30人
ロシア	初等・中等学校	25人
ドイツ	初等教育基礎学校 4年まで	24人
アメリカ ケンタッキー州	第3学年まで	24人

文部科学省「教育指標の国際比較」(2013年度版)より

